

事務事業名	少年指導センター運営協議会運営事業				担当	教育委員会 生涯学習課 女性青少年係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	3	青少年の健全育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和58年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	真岡市少年指導センター設置条例						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	11. 少年指導センター費			
事業概要	教育委員会の諮問に応じ、少年指導センターの事業の企画実施に関して、年に1度調査審議する。 ・委員：10人、構成：教育長・関係各行政機関3人（警察署長・法務局真岡支局長・福祉事務所長）、学識経験者6人（少年指導員会・高校長代表・小中学校長会・民生委員児童委員協議会・PTA連絡協議会・女性団体連絡協議会） ・任期2年（残任期間有）、委員報酬8,500円/人						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 年に1度会議を開き、指導センターの調査審議を行う。 30年度計画 平成29年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	報酬額	千円	51	25	34	34	51
	イ	会議開催数	回	1	1	1	1	1
	ウ							
	エ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 少年指導センター運営協議会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	委員数	人	10	10	10	10	10
	イ							
	ウ							
	エ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 少年指導センターの企画運営を調査審議することにより、事業の調整を行う。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	少年指導センターの指導を受けた小中高生数	人	23	30	16	18	18
	イ							
	ウ							
	エ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 青少年の健全育成を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	青少年の地域活動に参加している市民の割合	%	7.2	5.2	6.5	7.4	7.4
	イ	(市民意向調査)						
	ウ							
	エ							

(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	51	25	34	34	
	事業費計(A)	千円	51	25	34	34	51	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	15	15	15	15	
		人件費計(B)	千円	63	63	62	62	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	114	88	96	96	113

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	教育委員会の諮問に応じ、指導センターの事業の企画実施について、調査審議することを目的として設立。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	大型店の増加や公園の整備など都市化が進んでおり、またテレクラ、ポルノ雑誌の氾濫や携帯電話の普及などによる有害サイトが簡単に利用できるようになってきており、青少年を取り巻く状況は悪化している。また、非行の低年齢化や重篤犯罪の発生が危惧されている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	委員から、真岡市は、青少年育成の環境浄化が進み、少年犯罪の件数が減少したとの意見が寄せられた。